日本脳神経血管内治療学会　会員各位

2020 年 12 月 15 日

脳血管用ガイディングカテーテル・高度屈曲対応型に関する情報提供

厚生労働省保険局医療課から、令和 2（2020）年 12 月 11 日付けで、「「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部訂正について、が発出されました。

事　務　連　絡
令和２年 12 月 11 日

地方厚生（支）局医療課
都道府県民生主管部(局)
　国民健康保険主管課（部）
都道府県後期高齢者医療主管部(局)
　後期高齢者医療主管課（部）
御中

厚生労働省保険局医療課

「「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」
等の一部改正について」等の一部訂正について

令和２年９月 30 日付け保医発 0930 第４号における「「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部改正について」及び令和２年 11 月 30 日付け保医発 1130 第３号における「「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」につきまして、別添のとおり一部訂正がありましたので、貴管下の保険医療機関、審査支払機関等へ周知願います。

記

別添１　「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」等の一部改正について（令和２年９月 30 日付保医発 0930 第４号）

別添２　「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について（令和２年 11 月 30 日付保医発 1130 第３号）

（別添１）

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」
（令和２年３月５日保医発 0305 第９号）の一部改正について

２　Ｉの３の 132(3)中の「脳動脈瘤治療用フローダイバーター」を「脳動脈瘤治療用フローダイバーターシステム~~又は中心循環系血管内塞栓促進用補綴材~~」に改める。

（解説）

今回の訂正により、脳動脈瘤治療用フローダイバーターシステムの留置を補助する目的で使用した場合に限り算定できると改められました。今後は、フローダイバーター（血流改変機器）の動脈内留置型（Pipeline、FRED）および瘤内留置型（W-EB）が対象となります。

（参考）

令和2年 9 月 30 日付保医発 0930 第 4 号

別添 1

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」
（令和２年３月５日保医発 0305 第９号）の一部改正について

1　Ⅰの３の 130(4)中の「対象血管内径 2.75㎜から 5.0㎜」を「対象血管内径 2.5㎜から 5.0㎜」に改める。

2　Ⅰの３の 132(3)中の「脳動脈瘤治療用フローダイバーター」を「脳動脈瘤治療用フローダイバーター又は中心循環系血管内塞栓促進用補綴材」に改める。

（別添１参考）

「特定保険医療材料の材料価格算定に関する留意事項について」（令和２年３月５日保医発 0305 第９号）の一部改正について
（傍線の部分は改正部分）

改　正　後	改　正　前
Ⅰ　診療報酬の算定方法（平成 20 年厚生労働省告示第 59 号）（以下「算定方法告示」という。）別表第一医科診療報酬点数表に関する事項 １・２　（略） ３　在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料（フィルムを除く。）に係る取扱い 001～129　（略） 130　心臓手術用カテーテル （１）～（３）（略） （４）　冠動脈用ステントセット・救急処置型は、対象血管内径2.5㎜から 5.0㎜の冠動脈又は伏在静脈グラフトに穿孔が生じ、心嚢内への止血が困難な血液漏出がある患者に対する救命の為の緊急処置に使用された場合のみ算定できる。 （５）～（８）（略） 131　（略） 132　ガイディングカテーテル （１）・（２）　（略） （３）　高度屈曲対応型は、脳動脈瘤治療用フローダイバーター又は中心循環系血管内塞栓促進用補綴材の留置を補助する目的で使用した場合に限り算定できる。 （４）　（略） 133～207　（略） ４～６　（略） Ⅱ～Ⅳ　（略）	Ⅰ　診療報酬の算定方法（平成 20 年厚生労働省告示第 59 号）（以下「算定方法告示」という。）別表第一医科診療報酬点数表に関する事項 １・２　（略） ３　在宅医療の部以外の部に規定する特定保険医療材料（フィルムを除く。）に係る取扱い 001～129　（略） 130　心臓手術用カテーテル （１）～（３）（略） （４）　冠動脈用ステントセット・救急処置型は、対象血管内径2.75㎜から 5.0㎜の冠動脈又は伏在静脈グラフトに穿孔が生じ、心嚢内への止血が困難な血液漏出がある患者に対する救命の為の緊急処置に使用された場合のみ算定できる。 （５）～（８）（略） 131　（略） 132　ガイディングカテーテル （１）・（２）　（略） （３）　高度屈曲対応型は、脳動脈瘤治療用フローダイバーターの留置を補助する目的で使用した場合に限り算定できる。 （４）　（略） 133～207　（略） ４～６　（略） Ⅱ～Ⅳ　（略）